

アメリカにおける DEI 推進策の動向 ——アファーマティブ・アクションの文脈から——

南川文里 (同志社大学)

0. はじめに

- ・トランプ政権の大統領命令「DEI」の廃止 (①) → 政府機関での廃止、企業の撤退
- ・「DEI」 = 「多様性、公正、包摂 (Diversity, Equity and Inclusion)」
政府、企業、教育機関などで実施される一連の「多様性推進」措置
アファーマティブ・アクション政策からの流れ

1. 公民権法からアファーマティブ・アクションへ

- ・公民権運動と 1964 年公民権法
公民権法と「差別のない社会」(②) / 「全員を同じように扱う」だけでいいのか
リンドン・ジョンソンの演説「事実として、結果としての平等」(③)
- ・「アファーマティブ・アクション (affirmative action)」
過去の差別にもとづく不平等が存在する社会における是正措置 (④)

2. 積極的差別是正措置から DEI 推進策へ

- ・バッキ判決 (1978 年): クォータは「逆差別」 / 「多様性」という新しい正当性 (⑤)
- ・21 世紀は多様性の時代? (⑥⑦⑧)
- ・多様性マネジメントから DEI 推進策へ (⑨⑩)
グラッター判決 (2003 年): 大学での多様性推進の意義を確認
DEI への展開: 多様性推進の専門化 / 範囲の拡大、BLM 運動以降の本格化 (⑪)

3. アファーマティブ・アクション廃止判決以後の動向

- ・公平な入試を求める学生の会 (SFFA) 対ハーバード・UNC (2023 年) (⑫)
- ・攻撃される「多様性」: DEI は「偉大なアメリカ」を害するのか? (⑬)
白人優越主義 (white supremacy): 「白人差別」としての DEI?
メリトクラシー (業績主義社会) を害する DEI?

4. まとめ

- ・「不平等」をどう考えるのか? 能力 / 選抜とは? (⑭)
- ・企業の対応: 反多様性 / 面従腹背 / 抵抗? (⑮)
新しいキーワード「帰属 (belonging)」の広がり?
- ・トランプ政治の矛盾: 白人優越主義 vs メリトクラシー / 穏健保守 vs 反 DEI

【参考文献】

南川文里『アファーマティブ・アクション——平等への切り札か、逆差別か』中公新書, 2024.